

(7) その他(播種性血管内凝固症候群、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の症例数等)

対象: 2015年4月1日から2016年3月31日までの退院患者

【説明】

この指標は、入院の合併症として代表的な4種の傷病名の症例数を集計し、当院のDPC対象患者数全体に占める割合をみたものです。

※1 傷病名が「入院の契機となった病名と同一である場合」とは、入院時からこの傷病を有し、その治療を目的に入院された患者であることを表します。

代表的な例は「手術・処置の合併症」において入院の契機となった傷病名と同一である「127症例」で、ここには人工股関節の脱臼やゆるみ、透析シャントの狭窄などが含まれます。

一方「入院の契機となった病名と異なる場合」とは、別の疾患の治療を目的に入院され、その後に発症したものであることを表します。

DPC	傷病名	入院の契機となった病名と「同一」か「異なる」か ※1	症例数	この症例が当院のDPC対象患者全体に占める割合
130100	播種性血管内凝固症候群(DIC)	同一	*	0.0%
		異なる	25	0.1%
180010	敗血症	同一	48	0.2%
		異なる	48	0.2%
180035	その他の真菌感染症	同一	5	0.0%
		異なる	7	0.0%
180040	手術・処置等の合併症	同一	127	0.6%
		異なる	26	0.1%

注: \* は3件以下をあらわす。